

2026年度電気関係学会東北支部連合大会の主幹校（開催校）は、基本ローテーションに基づき **山形大学** とする。

◆ 基本ローテーション

順番	主幹校（開催校）
1	会津大学
2	山形大学
3	東北工業大学
4	弘前大学
5	岩手大学
6	秋田大学
7	日本大学
8	八戸工業大学
9	東北学院大学
10	岩手県立大学
11	秋田県立大学



年度	主幹校（開催校）	主幹事学会	
2025年度 (R 7)	会津大学	情処	決定済
2026年度 (R 8)	山形大学	電気	+2年度主幹校／決定
2027年度 (R 9)	東北工業大学	通信	+3年度主幹校／調整開始
2028年度 (R10)	弘前大学	情処	+4年度主幹校／
2029年度 (R11)	岩手大学		ローテーションの確認（開催候補）
2030年度 (R12)	秋田大学		
2031年度 (R13)	日本大学		
2032年度 (R14)	八戸工業大学		
2033年度 (R15)	東北学院大学		
2034年度 (R16)	岩手県立大学		
2035年度 (R17)	秋田県立大学		

背景・検討経過

- 電気関係学会東北支部連合大会の**主幹校（開催校）**は、これまで開催年度の**主幹事学会が毎年、過去の主幹校の順番等を参考に、候補となる学校に、都度打診・調整**を行い決定してきた。
- しかしながら、主幹事学会の分野と学校の学科等の親和性、学校側でも早期の準備が必要等の理由から、**毎年調整に難航しているのが実情**である。
- 2022年2月の連合大会役員会において、**主幹校の基本ローテーションを前もって定めておくことにより、主幹事学会・主幹校の負担を軽減する**との方針となり、**2025年度からの運用を検討している**。

基本ローテーションについて

■ 基本ローテーションの作成

- ✓ 直近の主幹校の順番に沿って、**基本ローテーションを作成**する。（P2参照）
- ✓ 当該年度の主幹事学会は、基本ローテーションに沿って、候補となる主幹校に**依頼・調整**する。
- ✓ 学校の事情などにより**当該開催年度を変更する必要がある場合は、前後の主幹校等と個別調整することにより順番の入れ替えは可能**とする。
- ✓ **基本ローテーションの扱いに関することは、大会役員会にて決定**する。

■ 主幹校の決定方法

- ✓ 毎年度、**大会役員会（1月頃開催）にて、基本ローテーションに基づき翌々年度から3年間の主幹校を決定・確認**する。

基本ローテーションの具体的な運用

- ✓ 直近の主幹校の順番に沿って基本ローテーション表を作成する。
- ✓ 基本ローテーションは、**2025年度（R7年度）主幹校から適用**する。
- ✓ 基本ローテーションは、**毎年度の役員会で都度確認**する。
- ✓ 毎年度、**大会役員会（1月頃開催）にて**、基本ローテーションに基づき**翌々年度から3年間の主幹校を決定・確認**する。
- ✓ 対象校の事情等により**主幹校となる年度を変更する必要がある場合は、前後の開催校等と個別調整**するなど、**対象校間および当年度主幹事学会にて調整**する。
- ✓ **基本ローテーションの変更・追加・削除等**が必要な場合（学校・学部・学科等の統廃合、新規学校の追加等）は、**大会役員会にて審議を行い、基本ローテーションの改定等**を行う。

参考：近年の主幹校（開催校）

回数	年度	主幹校（開催校）	主幹事学会
47	2011 (H23)	東北学院大学	電気
48	2012 (H24)	秋田県立大学	通信
49	2013 (H25)	会津大学	情処
50	2014 (H26)	山形大学	電気
51	2015 (H27)	岩手県立大学	通信
52	2016 (H28)	東北工業大学	情処
53	2017 (H29)	弘前大学	電気
54	2018 (H30)	岩手大学	通信
55	2019 (R 1)	秋田大学	情処
56	2020 (R 2)	日本大学（書面発表）	電気
57	2021 (R 3)	八戸工業大学（オンライン開催）	通信
58	2022 (R 4)	東北学院大学（オンライン開催）	情処
59	2023 (R 5)	岩手県立大学	電気
60	2024 (R 6)	秋田県立大学	通信



◆ 基本ローテーション表

順番	主幹校（開催校）
1	会津大学
2	山形大学
3	東北工業大学
4	弘前大学
5	岩手大学
6	秋田大学
7	日本大学
8	八戸工業大学
9	東北学院大学
10	岩手県立大学
11	秋田県立大学

以降、1から繰り返し